

# 筑後市交通安全協会だより

令和元年8月20日作成

○ 先ず本年7月末までの交通事故(人身事故)の状況からお知らせします ( )は前年比です

	発生件数	子どもの事故	高齢者関連事故	自転車事故	飲酒運転事故
福岡県内	15、350件 (-2、603)	558件 (-7)	5、034件 (-650)	2、331件 (-155)	86件 (+8)
死者数	52(-25)	0(-1)	22(-27)	5(-6)	7(+5)
筑後市内	149(-42)	7(+2)	54(-12)	16(-8)	筑後署管内
死者数	1(+1)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	2件(+2件)

県下の高齢運転者1当の死者数は12人で全死者の23%

筑後署管内(大川市・大木町含め)の高齢運転者事故 117件

～ 補償運転に心がけて～

## 交通安全協会への入会について

全国的に入会者の減少が続いており、当協会の場合も平成20年度3209人であったのが、平成30年度は2391人に減少 加入率31.0%と厳しい状況です。

その原因としては「入会したらどんなメリットがあるのか、協会の具体的な活動は?」といった声が多く聞かれていることから

- 1 ホームページを開設し、各協会の活動状況をいつでも閲覧できるようにしました
- 2 本年4月から免許更新の際の入会手続きをパソコン入力化し、迅速な入会と会員サービス(メリット)として、

- ◎ お得な特典が利用できる協賛店が九州各県約4000店に拡大
- ◎ 入会しメール会員になれば事故・道路規制・交通安全等の情報配信が受けられる
- ◎ プレゼントとして1年間・3年間・5年間それぞれ無事故無違反の方には抽選で商品券を進呈

等入会の魅力度アップを図っています。皆さんには好評です。

～尚、入会費は1年間400円ですので、

ゴールド免許の方は5年で2,000円となります～

## 優良運転者表彰の募集をしております

新しくなったカード式会員証です

高齢運転者の重大事故が報道される中、永年無事故無違反を続け安全運転に心がけてある方々を表彰して敬意を評し、安全運転に対する関心を高めようと毎年、交通安全協会が行っています。

優良運転者表彰は、先ず

筑後警察署長・筑後市交通安全協会長連名表彰

を受けてもらいますが、資格要件として

10年以上の運転者で過去10年以上無事故・無違反・罰金以上の刑がない人

となっております。

尚、詳しくは「広報 ちくご9月号くらしの情報欄」に掲載していますが、事務局にて受け取りますのでお問い合わせください。  
(応募締め切りは本年11月7日となっております)

事務局 筑後市大字山ノ井341-6 (筑後警察署東隣) ☎ 53-7599

筑後市交通安全協会 事務局長 田中

高齢運転者の交通事故防止策として『補償運転』を勧めており、裏面に絵入りで内容を記載しておりますので、皆さんで見てください。

**飲酒運転をなくすには本人の自覚が一番大事ですが、家族同僚等周りの協力が必要であり、本人はもとより飲酒運転にかかわった人も大きな処罰を覚悟しなければなりません。**

## 当協会からのお知らせです

### 1 優良運転者表彰募集について(申し込み締め切り日 10月20日)

筑後市交通安全協会長表彰

運転経歴5年・過去5年以上無事故無違反・罰金以上の刑に当たる犯罪行為がない人

筑後警察署長・当協会長連名表彰

運転経歴10年・過去10年以上無事故無違反・罰金以上の刑に当たる犯罪行為がない人

### 2 秋の交通安全県民運動期間中(9・21～9・30)の交通安全キャンペーン実施予定について

9月23日(土)市主催の「ちっこ祭り」に今年も参加させていただきます。例年、会場ステージにおいて交通安全の寸劇等を行い、その後会場の皆様に啓発物を配り交通安全を呼びかけていますが、今年は 午前9時50分から行う予定になっています。

また、10月2日(月)筑後自動車学校において、高齢者の交通事故防止キャンペーンを計画中です。 ～

当協会は独立したボランティア団体であり、善意ある皆様の入会費等で運営しています～

お問い合わせは筑後警察署東隣 筑後市交通安全協会 事務局(TEL/FAX53-7599)まで

○ 交通事故の発生件数そのものは減少していますが、事故で亡くなる方の半数以上が65才以上の高齢者で、交差点等で横断中に事故にケースです。

○ 更に今問題になっているのが、高齢者の運転による事故・違反が増加していることです。

「年末の交通安全キャンペーン」

当協会としましては、筑後市から高齢者運転による事故や高齢者の歩行・横断での事故を1件でも減らすべく、昨年に引き続き筑後警察署や筑後市と協働で

「年末の交通安全キャンペーン・夜間における〔参加・体験型〕交通安全教育」を行いました。

日時 平成28年11月16日(水)午後6時00分から

場所 筑後市大字久富 筑後自動車運転免許試験場 試験コース

参加者 当協会・市の交通指導員・各校区コミュニティー協議会等総勢70名

内容

最近の死亡事故の特徴の一つとして夜間・薄暮時の歩行中の事故があげられ、その原因が歩行者の発見遅れが指摘され、国も来年から

車のライトを上向きにして早く歩行者を発見し、事故を未然に防止する

等の交通安全施策を実施することになっていることから、高齢者に対する「前照灯効果」「反射材効果」等の視覚実験を行ないましたが、

日頃から交通安全活動に携り、指導する立場でもある参加者全員が真剣に取り組みました。

○ 前照灯照射実験

ロービーム(下向きライト)・ハイビーム(上向きライト)それぞれの照射範囲を体験

○ 服装(黒・赤・白・)色の違いによる視認性の実験

ロービーム・ハイビームそれぞれの照射による見え方を体験

○ 反射材活用実験

反射タスキ・アームバンド等の見え方

今回の実験で分かったこと

○ 運転者は日ごろ車のライトは上向きに照らし、常に前方を注視して歩行者を早く発見する

○ 歩行者は夜間・薄暮時、運転者が早く自分に気づくように明るい服や反射材を身に着ける

当筑後市交通安全協会は独立したボランティア団体で、皆様の善意ある入会金で運営しています。

当協会員は警察や様々な機関からの交通安全教育を学び、それを基に皆様の交通安全に役立ちたいと願って活動しております。活動状況につきましては、インターネット配信で福岡県交通安全協会にアクセスし、地区交通安全協会から当協会のホームページが閲覧できます。